

良子さんの ほっと一息ティータイム

青い空は青いままで 熊谷 良子 vol.27

家族でとても大切に使ってきた歌集があります。

1980年発行の『全国青年交流会記念歌集 たんぽぽ』です。手書きです。

目次を見ると、「仲間の歌、青春・人生」「平和と自由を求めて」「愛の歌」「土と緑と太陽と」「ふるさとのうた」「体を動かそうあそびのうた」と内容が豊かです。

年齢を超えて、その時々的心情や状況にぴったり重なる歌が350曲載っているのです。

食事会やお茶会、サークルの学習会の始まりと終わり、誕生会や結婚式、家族ドライブの車の中など、至る所で歌っていました。特に8月は「青い空は」を家族で歌いました。

♪青い空は 青いままで
子どもに伝えたい♪

1945年8月6日は広島、9日は長崎に原子爆弾が投下されました。

8月15日正午、日本はポツダム宣言を受け入れて降伏したこと、つまり戦争に負けたことを玉音放送で国民に知らせました。

戦争は命を奪うだけでなく、心身に深い傷を残します。

一瞬で、父や母、わが子や大切な人を失います。住み慣れた家や地域を追われます。

世界では戦争や内紛が繰り返されています。平和は守り、創り出していくものだと思います。

戦争を体験された人の体験を聴くことや読むことも大切です。絵本もあります。

二度と戦争を繰り返さないためには、私たちが豊かな想像力を育てることが大切です。

日常のあたりまえの一つひとつが、どれほど大切で貴重なことであるかを、家族で語り合ってみませんか。

そこから平和の一步が創出されるように思います。

